１１章　情報倫理教育の方法（2）

情報危機管理(p117)

- 事前対応
  - 危機が起こらないようにする対策を講じておく
- 対応
  - 危機が起こったときの処理方針をあらかじめ決めておく
- 事後対応
  - 危機が起こった後の復旧計画をあらかじめ決めておく
- 情報倫理には「技術的な知識」は含まれていない

情報倫理教育(p117)

- 情報社会、情報化社会の成立ち
- 技術的背景の理解、危機管理の考え方
- 情報社会、情報化社会において、人はどのように生きるべきか、人はどのようにふるまうべきかを考える態度

押し付けによる単純記憶（教育目標はたてやすい）

↓

秩序維持の達成効果は低い

情報倫理教育(p118)

- 矛盾状況
  - 対立する利益構造の存在，判断基準の変化など
- 運用面での事件･事故の実例
  - 技術，法律，制度，教育，宗教，政治
- 他分野、他教科との協調
  - 英語科目などとの協調
  - CNN(http://www.cnn.com/TECH/computing/)
  - San Jose Mercury News(http://sv.com/news/)
- 学校環境における事件･事故
  - フロッピィの紛失，ネットワークトラブルなど

教員教育におけるシミュレーションの必要性(p122)

- 単純な過誤
- 資源不足
- 準備組織不足
- 言葉の定義が不明確なまま使うことの弊害
- 無知
- 犯罪目的
- 故障･未対応
- 自然災害･人的災害